

熊本県阿蘇家畜保健衛生所

〒869-2612 阿蘇市一の宮町宮地2639-1

TEL 0967-22-0041 FAX 0967-22-4612



## 口蹄疫防疫演習を実施しました！

8月9日にJA熊本教育センターと農業公園において、農林水産省、国土交通省、警察、自衛隊、市町村、畜産団体等の関係機関を参集し、県内における口蹄疫の発生を想定した机上演習及び殺処分（模擬）の実地演習を行いました。この演習は、口蹄疫発生時の一連の防疫措置について検討を行い、防疫体制の問題点の把握と防疫意識の更なる向上を目的としています。

机上演習では、県内で口蹄疫が発生した場合の①防疫対応の概要、②農場防疫措置、③支援センターや消毒ポイント等の後方支援の3点について確認しました。

午後からの実地演習では、生きた牛を用いての捕獲演習（写真1）、薬剤注射による殺処分のデモンストレーション（写真2）、牛の模型を用いた埋却演習（写真3）消毒ポイントにおける車両消毒の実演（写真4）を行いました。



写真1：牛の捕獲



写真2：殺処分のデモ



写真3：模型牛の埋却

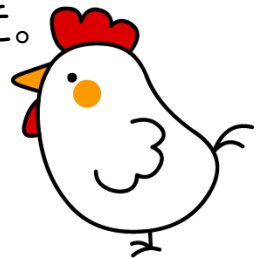


写真4：車両消毒の実演

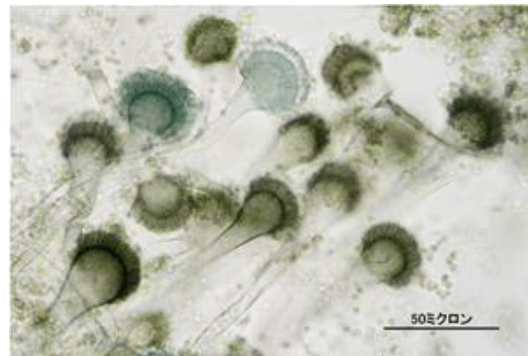
# 鶏病技術研修会が開催されました！

8月25日に中央家畜保健衛生所で鶏病技術研修会を開催いたしました。阿蘇家畜保健衛生所からは、「ブロイラー初生ヒナで発生した鶏アスペルギルス症」の事例を紹介しました。

**鶏アスペルギルス症**とは、アスペルギルス属の真菌(かび)が原因で起こる感染症です！！



アスペルギルスの胞子は、土、空気、飼料等環境中の至るところに存在しています。健康な鶏であれば、少量の胞子を吸い込んだとしても発症することは少ないですが、胞子に汚染された敷料や飼料の給与、換気不全などによる環境中の胞子への大量暴露、もしくは、ストレス、栄養不良等、鶏側の要因で鶏アスペルギルス症を発症してしまうことがあります。幼雛で急性集団発生した場合は、死亡率が50%に及ぶこともあります。本症の治療は極めて困難であることから、予防が非常に大切です。十分な換気を心がけ、鶏にストレスがかかるような過密飼育は避け、飼料保管にも注意をしましょう。



アスペルギルスの顕微鏡写真  
動物衛生研究所HP(家畜疾病  
図鑑Web)より引用

## 近隣諸国における悪性家畜伝染病発生情報

病名	発生地	発生日	畜種	型
口蹄疫	モンゴル	4月22日～8月10日	牛、山羊、羊	O型
アフリカ豚コレラ	欧州・ロシア等	2007年以降～(継続発生) 6月10日～8月23日(直近発生)	豚・いのしし	
高病原性 鳥インフルエンザ	台湾	7月24日、8月15日	家きん	H5N2
	中国	8月1日	家きん	H5N1
		8月15日	うすら	H5N6

平成29年9月1日時点

## 毎月20日は「くまもと家畜防疫の日」

韓国や台湾など近隣諸国では依然として悪性家畜伝染病が発生しています。地域全体で衛生水準を上げる事が重要です。

防災情報や家畜伝染病発生情報を配信しています。

下記アドレスもしくは右のQRコードより、登録用ホームページへ！

<http://www.anshin.pref.kumamoto.jp/>

